

平成 26 年 8 月 5 日

株式会社アコーディア・ゴルフ株主各位

株式会社レノ  
代表取締役 三浦 恵美

### 株式会社アコーディア・ゴルフについて

株式会社レノ（以下「弊社」といいます）は、共同保有者（以下、弊社と共同保有者を合わせて「弊社ら」といいます）保有分を含めて、現時点で株式会社アコーディア・ゴルフ（以下「AG」といいます）の議決権数の 35%強を保有しておりますが、本日付で、AG に対して、臨時株主総会の招集請求を提出いたしました。

#### 1. 臨時株主総会の招集請求について

弊社らは、会社法 297 条 1 項の規定に基づき、本日付で AG に対して（1）取締役 6 名解任の件と（2）取締役 5 名選任の件を目的とした臨時株主総会の招集請求を提出しました。

##### （1）取締役 6 名解任の件

AG の現取締役 10 名のうち、社外取締役全員の 6 名（澤田勲氏、大西又裕氏、須藤修氏、田代祐子氏、田淵智久氏、前川充留氏）について、解任を求めます。社外取締役として求められるガバナンスの役割について、これまでの配当性向の変更、今後の AG の株主還元等の観点から、十分にその役割を果たせていないと判断した次第です。なお、本年 6 月 27 日に開催された AG の定時株主総会では、弊社らは当該社外取締役 6 名のうち、新任の前川氏以外の 5 名についてはその再任に反対の議決権行使をいたしました。

##### （2）取締役 5 名選任の件

今後の AG のさらなるアセットライト及び株主価値最大化を実現するために、弊社らは、弊社らの役職員である三浦恵美、福島啓修、中島章智、野間口雅彦及び池田龍哉の 5 名を、AG の取締役（いずれも社外取締役）として選任することを提案いたします。当該 5 名が AG の取締役に選任された場合には、AG の資本政策を中心に徹底した株主還元を行うことを目指し、今後 2 年間を目処に追加で 400 億円以上の AG の資産のアセットライトを進め、平成 28 年 3 月期と同 29 年 3 月期の 2 期で、現在 AG が株主の皆様を示している配当（みなし当期純利益の 45%）を含めて、200 億円以上の株主還元を進めていく方針です。なお、みなし当期純利益の 45%は配当とするものの、それ以外の株主還元については、配当又は自己株式取得のいずれにするかについては、株主の皆様にお諮りして参る所存です。もし、株主還元に必要な現預金が不足するような事態が生じる場合には、弊社らが現在の AG の金融機関からの借入と同等条件にて必要資金を AG に貸し付けることも検討いたします。こ

のような形で大株主が提案する者が AG の社外取締役となることで、AG の経営の緊張感と透明性を高め、株主価値向上に資すると考えております。

なお、AG の事業運営については、基本的には従前からの業務執行取締役 4 名に引き続き委ねることとし、株主の皆様、会員の皆様、取引先の皆様、従業員の皆様等、AG のステークホルダーの皆様には不利益がないように細心の注意を払います。また、新たに弊社らが選任を提案する 5 名の社外取締役については、その役割を果たした時点で退任すべきかの判断を行う見通しです。

## 2. 臨時株主総会の招集請求を行うに至った経緯

AG は平成 24 年 11 月に PGM から敵対的 TOB をかけられたことを受け、同年 12 月から平成 25 年 1 月にかけて、配当性向 90% という徹底的な株主還元を打ち出し、これにより株主の皆様の支持を受け（弊社らもこの株主還元の姿勢に共感し、AG 株式を買い増しました）、PGM による敵対的買収は不成立となりました。

AG の大株主になった弊社らは、昨年 2 月頃より、AG と今後の株主価値向上策を中心に様々な議論を開始しました。その議論の中で、AG からは、AG が保有する 2000 億円を超えるゴルフ場資産のほぼすべてをビジネストラスト（以下「BT」といいます）という形でシンガポールに上場させることにより、バランスシートを大胆に圧縮し、コア事業であるゴルフ場運営事業に特化することを検討しており、これについては昨年 6 月の AG の定時株主総会に諮りたい旨の話があり、弊社らもこの方向性には賛同しておりました。

しかしながら、様々な要因から BT の公表がずれ込み、株主の皆様に検討状況を開示すべきであると弊社らが AG に対して強く主張した上で、AG は昨年 10 月 31 日付で BT 等の検討状況に関する開示（当社の経営戦略に関する検討状況について）を行いました。

その後、本年 2 月 10 日に、AG から弊社らに対し具体的な BT の案が提示され、弊社らが賛成することを条件に同案を進めたい旨のご連絡を頂戴いたしました。AG 側から提示された BT 案について、弊社らからは主に、①当初想定に比べて切り出すゴルフ場が大幅に減り、その結果として株主還元の規模が大幅に縮小している点（134 コースのうち 90 コースのみに減少）及び②BT 後の配当を株主に当初約束した 90% から 45% に半減させる点について、株主として反対をし、連日活発な議論をして参りました。

本来であれば本年 3 月 28 日の BT の開示をする際に、BT 後の AG の事業計画を開示すべきだという弊社らの主張に対して AG からは、BT の開示から 3 週間以内にきちんと事業計画について開示をする旨、また、弊社らから指摘した上述の①及び②についても株主の意見として伺い、適切に対処する旨の回答がありました。この期間中、弊社らは、①については、速やかに追加のアセットライトを行うことで AG の総資産を 1000 億円以下にし、その資金による追加の株主還元を行うことを中期経営計画に入れ込むこと、②については、「90%」は一度株主と約束したことであり 2 年も経たないうちに変更するのは株主に対する裏切り行為であり、配当資金については十分なキャッシュがあると判断しているが、必要があれば弊社らが自ら AG に配当資金の貸付けを行ってもいいこと等を AG に申し上げ、ご検討いただきました。しかしながら、結果として、AG から開示された中期経営計画は

①、②いずれについても不十分なものでした。

さらに本日までの 10 日ほどは、弊社らも大株主として AG と徹底的な議論を続けてきましたが、その結果として AG が開示した平成 26 年 8 月 4 日付のリリースでも、残念ながら、AG の経営陣は株主に対して徹底したアセットライトと株主還元について明確な方針を打ち出していないという弊社らの結論に至りました。これまでの話合いの中で、弊社らは、AG の現経営陣は大きな決断の場面において迅速に決断する力に欠けていること、また株主の目線に立った経営ができていないことを強く実感いたしました。

### 3. 弊社らの考え方

弊社らは、AG との間で、BT や株主還元について議論していく中で、現在の AG 経営陣は、そのスピード感、決断力等の点において、株主の目線に立っておらず、これが AG 株価の低迷につながっているものと懸念しています。弊社らが提案する社外取締役が就任することで、前述の今後 2 年で 400 億円以上のアセットライトと 200 億円以上の株主還元の方針が明確に打ち出され、AG がこれに向けて進んでいくことが株主の皆様利益につながるものと考え、前記のとおり、臨時株主総会招集請求を提出するに至りました。弊社らは、これまでの AG 経営陣との話し合いの過程から、上記の 400 億円以上のアセットライトと 200 億円以上の株主還元は AG の財務状況、キャッシュフロー状況に鑑みても実現可能なレベルであると考えており、その実現を目指す姿勢を明確にしないことは経営者の怠慢であると考えます。

AG の株主の皆様、ステークホルダーの皆様には、是非とも弊社らの方針にご賛同いただきたくお願い申し上げます。

なお、AG の現経営陣が、弊社らが掲げた株主還元と同程度の株主還元を実現する決意を公表するなどして、敢えて社外取締役を交代させる必要がなくなったときは、弊社らは、本招集請求を撤回する所存です。

本件に関するお問い合わせ等については、株主か否かを明らかにしていただき、連絡先を明記のうえ、電子メールにて宛先 [info@reno.bz](mailto:info@reno.bz) へお送りください。弊社がお答えすべき事項と判断した場合、その回答を弊社ホームページ ([www.reno.bz](http://www.reno.bz)) にて開示いたします。回答を行わない場合の判断理由は開示せず、個別の回答はいたしませんのでご了承ください。また、電子メール以外での電話等でのお問い合わせは受け付けておりませんので、合わせてご理解願います。

以上